様式第９

議　事　録

会　議　名	令和７年第２回中村警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和７年６月10日（火）午後３時から午後５時25分までの間 中村警察署　講堂
出　席　者	１　委員　15名（定数15名） 近藤多喜男会長　後藤八重美副会長　天野　直明委員 渡邉　益代委員　小塚　文夫委員　宮地　秀幸委員 三宅　光治委員　大竹麻衣子委員　川瀬　隆弘委員 髙村　範子委員　奥村潤一郎委員　小池　理香委員 山本　芳裕委員　髙村　弥克委員　山田　浩平委員
	２　警察署員　９名 天野署長　宮本副署長　松井警務課長 髙瀬会計課長　江口生活安全課長　林地域課長 河合刑事課長　二ノ宮交通課長　中西警備課長
	３　有識者等 なし

１　会長挨拶及び新委員自己紹介
２　署長挨拶及び幹部紹介
３　報告内容
（1）　管内の治安情勢
（2）　前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況
ア　前回の協議事項
特殊詐欺及びＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺の防止対策
イ　前回の意見・要望
(ｱ) 年代に応じた印象に残る広報啓発活動
(ｲ) 学校等と連携した取組の推進
ウ　施策推進状況
・　高齢世代に対して、
①　寸劇による防犯講話
②　自宅固定電話機へのポップ掲示
③　国際電話不取扱申請の普及
④　「福寄せ雛」を活用した啓発
を実施した。
・　若者世代に対して、

①　大学生防犯ボランティアとの「闇バイト」防止動画の作成
②　タレントを一日警察署長に起用したイベント
③　被害者（若者本人）の「生の声」を届ける取組

を実施した。

・　全世代に対して、
①　特殊詐欺防止啓発「盆踊り」の制作
②　企業等に対する防犯講話の推進

を実施した。

・　「母の日メッセージカード」を活用した保護者世代への啓発活動を実施した。
・　高校、専門学校、大学等と連携した「闇バイト加担防止」対策を実施した。
・　学生用ネットワークを活用した一斉注意喚起メールを送信した。
・　金融機関と連携した水際防止対策を実施した。
・　スーパーマーケットにおける店内放送を活用した注意喚起を実施した。
・　家電量販店と連携した「被害防止機能付電話機」の普及促進を実施した。

４　協議事項

自転車の安全利用に向けた取組の推進

５　発言の要旨

・　小学校では、毎年１回の自転車を使用した交通安全教室が行われているため、指導が徹底されているが、中学校、高校ではそのような機会がなくなるため、意識が薄れがちになると思う。また、高齢になると意識が低下するため、年代に応じた指導が必要と思う。
・　自転車をよく利用する中学生、高校生に対し、重点的に指導を行ってほしい。
・　自転車は、小さな子供から高齢者までが乗れる乗り物であるため、それぞれの年代に応じた指導が必要と思う。
・　啓発活動は、地域と連携した取組を行い、その中で、若者や高齢者に参加してもらうことにより、参加者の意識向上が図れると思う。

６　意見要望

(1) ライフステージに合わせた効果的な交通安全教育の推進
(2) 地域と連携した広報啓発活動の推進

７　その他

・　次回開催予定
令和７年９月上旬

備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。